

交流スペース・アイ活用による “多世代交流”および“健康維持増進”

令和2年度花見川区地域活性化事業 活動報告

NPO法人千葉西地域包括多職種の会

本事業の背景

高齢化・核家族化により、独居または日中独居の高齢の方、地域で孤立している方が増えている。

高齢化は、認知症や身体機能の低下等で要介護の方が増えている。

核家族化により、若い世代で子育てと親の介護が重なるダブルケアラーが増えている。

**健康の維持増進、外出の機会や多世代との交流、
健康や介護などの相談ができる場が求められている**

本事業の取り組み



交流スペース・アイを活用し
多様なイベントを開催
多世代の交流・健康維持を図る

- 多世代の交流や、男性やシニアの新たな楽しみの創出を目的としたイベント
- 健康維持増進を目的とした、体操教室など
- 健康や生活への不安解消を目的とした終活や介護の相談会など

2年目である今年度の活動実績

昨年度は、毎週、体操や茶話会、介護相談、健康講話、カラオケなどを実施してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、イベントの内容を見直し、感染予防を実施して以下を行った。ただし、緊急事態宣言などで実施できない期間があり、計画の年70回開催に対し、実績は25回と大幅に下回った。

- ・人数制限しての実施

夏祭り、秋祭り、体操、終活セミナー、介護相談など

- ・他団体と合同での開催イベント

断捨離バザーなど

- ・オンラインを活用した「サックスミニコンサート」



3年目へ向けて

今年度、コロナ禍により、さまざまな制限があり、計画通りのイベント開催ができなかった。しかし、他団体との合同開催やオンライン活用など新たな取り組みができた。この経験を、3年目にも生かし、多様な年代のつながりができるイベントを開催していく。